

特別講演Ⅰ

第1会場（2F 大ホール）9:00～9:50

「大学病院から在宅へー褥瘡ケアに求められる多職種連携ー」

座長：入江 弘美（長崎大学病院 看護部）

演者：熊谷 英子（むらた日帰り外科手術・WOCクリニック）

特別講演Ⅱ

第1会場（2F 大ホール）13:00～13:50

「褥瘡再建手術療法の40年間と在宅褥瘡治療・ケアの現状」

座長：田中 克己（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 形成再建外科学）

演者：岡部 勝行（おかべ形成・整形外科クリニック）

特別講演Ⅲ

第1会場（2F 大ホール）14:00～14:50

「褥瘡診療30年から学んだこと」

座長：竹中 基（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 皮膚病態学）

演者：宮地 良樹（滋賀県立成人病センター）

シンポジウム 褥瘡の現状と未来

第1会場（2F 大ホール）15:00～16:30

座長：磯貝 善蔵（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 先端診療部皮膚科）

江口 忍（佐賀県医療センター好生館）

S-1「褥瘡の現状と未来」

演者（基調講演）：磯貝 善蔵（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 先端診療部皮膚科）

S-2「褥瘡の現状と未来～大学病院の立場から～」

演者：海田 真治子（久留米大学病院）

S-3「安心して過ごせる地域を目指して

～いつでも、どこでも、だれでも 必要なケアが受けられるために～」

演者：寺嶋 和子（訪問看護ステーション さいき）

S-4「褥瘡治療に対するリハビリ職のあり方～ノーリフトケアの取り組みについて～」

演者：立石 康弘（医療法人外海弘仁会日浦病院 リハビリテーション部）

S-5「当施設での褥瘡への関わり ～包括的介入を目指して～」

演者：瓜生 茂喜（宮崎江南病院附属介護老人保健施設 診療部）

ハンズオンセミナー

ハンズオンセミナー会場 (3F 会議室4・5) 9:50 ~ 11:10

「陰圧閉鎖療法の貼付テクニックの極意、教えます！～推定1000回の貼付交換の経験から～」

講師：門田 英輝（九州大学病院 形成外科）

参加希望の方は、第14回学術集会ホームページの「プログラム」ページ (<http://www.congre.co.jp/jokusou14/program/>) より「ハンズオンセミナー」申込書をダウンロードして、お申込みをお願いします。（定員60名）

共催：ケーシーアイ株式会社

ランチョンセミナー 1

第1会場 (2F 大ホール) 11:20 ~ 12:20

「なぜ治らない？難治性創傷はこうしたら治る・・・形成外科医の視点・WOCの視点

～バイオフィルムって知ってますか？～」

座長：田中 克己（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 形成再建外科学）

演者：大山 拓人（福岡大学病院 形成外科）

直海 倫子（福岡大学病院 看護部）

共催：スミス・アンド・ネフュー株式会社 ウンドマネジメント事業部

ランチョンセミナー 2

第2会場 (3F 国際会議場) 11:20 ~ 12:20

「看護における真菌感染症」

座長：西本 勝太郎（一般社団法人日本海員掖済会長崎掖済会病院 皮膚科）

演者：竹中 基（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 皮膚病態学分野）

共催：科研製薬株式会社

一般演題

□演1 除圧

第1会場（2F 大ホール） 10:00～10:50

座長：深川 修司（深川皮膚科）
塚田 久美（熊本中央病院 看護部）

○1-1 体圧分散測定器を用いた個別的ポジショニングの検討

特定医療法人 雄博会 千住病院 今里賢一郎

○1-2 圧測定によるポジショニングの変化

特定医療法人 八木厚生会 八木病院 城本 雅与

○1-3 高反発クッションを用いた圧、ズレの排除により治癒した仙骨褥瘡の一例

社会医療法人 原土井病院 下田 雅子

○1-4 車椅子クッションのへたりと除圧効果の関係について

地方独立行政法人 大牟田市立病院 リハビリテーション科 山下 満博

○1-5 再発を繰り返す褥瘡とノーリフトケア

医療法人外海弘仁会日浦病院 看護部 井上 信也

○1-6 看護師視点からの車椅子シーティングに対する取り組み～院内ルール作成に向けて～

社会医療法人 原土井病院 看護部 藤松 泉

□演2 周術期管理

第2会場（3F 国際会議場） 10:00～10:50

座長：守永 圭吾（宮崎大学医学部 外科学講座 形成外科学分野）
山田 陽子（産業医科大学病院 看護部）

○2-1 手術室におけるMDRPU予防対策への取り組み～医師との連携を行って～

久留米大学病院 中央手術部 吉開 智恵

○2-2 長時間の手術・治療後に頭部脱毛を生じた症例を経験して

佐世保市総合医療センター 看護部 中島由香里

○2-3 脊椎後方手術におけるドレッシング材を使用した褥瘡予防の取り組み

産業医科大学病院 手術部 松本 浩太

○2-4 長時間手術における除圧の効果

長崎大学病院 看護部 坂口 康貴

○2-5 坐骨部褥瘡に対する穿通枝皮弁術の周術期管理

社会医療法人友愛会 豊見城中央病院 看護局 玉城 判

○2-6 褥瘡の術後安静における合併症

医療法人 友愛会 豊見城中央病院 形成外科・顎顔面外科・美容外科・美容皮膚科 樫山 和也

□演3 予防環境整備

第2会場 (3F 国際会議場) 15:00 ~ 15:40

座長：安田 浩（産業医科大学病院 形成外科）
芦田 幸代（前 大分大学医学部附属病院 看護部）

○3-1 日常生活援助における褥瘡予防ケアの現状～病棟内褥瘡発生要因の分析結果より～

久留米大学病院 益村奈美子

○3-2 弾性ストッキングによる医療関連機器圧迫創傷(MDRPU)の予防専任看護師による予防ケア周知の取り組み

国立病院機構 九州医療センター 看護部 近藤三亀代

○3-3 褥瘡予防にプロセスQIを導入して

大分赤十字病院 看護部 足達 節子

○3-4 難治性褥瘡患者に対するチームアプローチ～ビーズクッションを用いたポジショニングの統一～

医療法人 信和会 和田病院 植田 裕子

○3-5 クロルヘキシジンアルコール消毒による化学損傷を生じた超低出生体重児の1例

国立病院機構長崎医療センター 形成外科 江口 瑞奈

□演4 栄養・外用治療

第2会場 (3F 国際会議場) 15:45 ~ 16:25

座長：川上 康修（原土井病院 内科）
中村 裕紀子（長崎医療センター 看護部）

○4-1 栄養管理計画書における栄養評価の整合性の検討

地方独立行政法人 大牟田市立病院 診療部栄養科 黒田 千愛

○4-2 糖尿病を有する褥瘡患者への栄養量設定について

医療法人 光善会 長崎百合野病院 栄養科 伴 知子

○4-3 当院の臀部褥瘡患者における下痢の影響

熊本大学医学部附属病院 褥瘡対策チーム 野口あかね

○4-4 施設における褥瘡発生時における外用薬等の選択に関する薬剤師の取り組み

医療法人昌和会 見立病院 薬局 藤渕 大樹

○4-5 局所陰圧閉鎖療法（NPWT）施行時に悪化した踵部褥瘡に対して外用療法が有効であった1例

社会医療法人 陽明会 小波瀬病院 薬剤部 吉永 裕助

□演5 教育

第3会場 (3F 会議室1～3) 10:00～10:50

座長：竹中 基（長崎大学病院 皮膚科）

児玉 裕子（宮崎大学医学部附属病院 看護部）

○5-1 A病院の褥瘡に関する院内研修の整備とその効果

大分市 医師会立 アルメイダ病院 看護部 金丸 真弓

○5-2 手指の褥瘡再発の予防を通じた統一ケア

医療法人昌和会見立病院 大西 美佳

○5-3 平成26年より行ってきた褥瘡予防を目的とした活動を調査し、今後の課題について報告する

医療法人 社団 敬信会 大法山病院 江藤 浩

○5-4 創傷に関わる看護師の院内教育

社会医療法人財団 白十字会白十字病院 看護部 石牟礼静香

○5-5 スタッフ育成に向けての認定看護師の役割

鹿児島県立大島病院 生田 英子

○5-6 血管外漏出予防対策に向けて意識向上への取り組み

医療法人 光晴会病院 褥瘡対策委員会 谷崎 睦

□演6 外科的治療・末梢動脈疾患

第3会場 (3F 会議室1～3) 15:00～15:40

座長：安楽 邦明（佐世保市総合医療センター 形成外科）

平良 智恵美（琉球大学医学部附属病院 看護部）

○6-1 熊本地震を契機に悪化した両側大腿切断後の坐骨部褥瘡の1例

熊本赤十字病院 形成外科 黒川 正人

○6-2 多発褥瘡に対する外科的治療を行った経過についての検討

福岡青洲会病院 看護部 山田佐和子

○6-3 腱切離術の治療経験

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院 形成外科 東盛 貴光

○6-4 末梢動脈疾患を発症した非糖尿病患者のフットケア

松下会 あけぼのクリニック 看護部 有江真由美

○6-5 末梢動脈疾患を合併した維持透析患者の現状と課題

松下会 あけぼのクリニック 看護部 勝山 智子

□演7 在宅医療・保存的治療

第3会場 (3F 会議室1～3)

15:45～16:25

座長：辻田 淳（社会保険稲築病院 皮膚科）

高木 良重（福西会病院 看護部）

○7-1 退院後訪問の実際と今後の課題

独立行政法人地域医療機能推進機構 諫早総合病院 大畑 直子

○7-2 入院治療を拒否した終末期の重度多発褥瘡利用者の在宅支援の1例

医療法人 信和会 和田病院訪問看護事業所 穂吉 博子

○7-3 診療看護師が係わる褥瘡管理

大分岡病院 松 久美

○7-4 褥瘡ケアを支援するうえでの工夫～施設看護師のケアを保証する関わり～

医療法人福西会 福西会病院 高木 良重

○7-5 巨大褥瘡を有する認知症高齢患者との関わり

特定医療法人 順和 長尾病院 吉村 明子

ポスターセッション

ポスター 1

ポスター討論1

ポスター会場 (3F ラウンジ)

13:10～13:52

座長：下前 百合香（公益財団法人昭代会 今給黎総合病院 看護部）

P1-1 効果的なポジショニング～褥瘡発生ゼロを目指して～

川内市医師会立市民病院 久留須加寿美

P1-2 適切で安楽なポジショニングを目指して ～4時間を超えない範囲での体位変換の定着～

公益財団法人健和会 戸畑けんわ病院 尾崎 美紀

P1-3 リハビリテーションスタッフの褥瘡・シーティングに関する評価スケールの理解度調査

社会医療法人恵愛会 大分中村病院 リハビリテーション部 佐藤 雄太

P1-4 蘇生後脳症により不随意運動のある後頭部褥瘡症例に対する枕の工夫

琉球大学医学部附属病院 看護部 翁長浩一郎

P1-5 難治性褥瘡患者にスモールチェンジ法を活用して

一般社団法人 玉名郡市医師会立 玉名地域保健医療センター 褥瘡対策委員会 中山真美子

P1-6 脳梗塞による左半身麻痺の患者における健側（踵部）に褥瘡発生した一例

地方独立行政法人大牟田市立病院 看護部 大倉ゆりえ

座長：酒井 宏子（佐賀大学医学部附属病院 看護部）

P2-1 CVC回診によるカテーテル潰瘍発生の減少に向けて

財団法人健和会大手町病院 梅崎 哲也

P2-2 ICUにおけるCPA蘇生後の低体温ジェルパッドによるMDRPU（医療関連機器圧迫創傷）の現状と今後の課題

医療法人社団シマダ 嶋田病院 看護部 ICU 隅地 憂香

P2-3 管理栄養士による当院褥瘡患者へのアプローチ

医療法人 外海弘仁会 日浦病院 栄養管理部 西村 由美

P2-4 当院褥瘡患者の特徴と分析 ～院内での褥瘡発生予防を目指して～

社会医療法人 恵愛会 大分中村病院 リハビリテーション部 金澤 藍

P2-5 褥瘡対策の取り組み

鹿児島県立 大島病院 池 智代

P2-6 医師間の調整役・病棟スタッフの教育を行い褥瘡が治癒に向かった一症例

医療法人 西福岡病院 香川麻衣子